



相ノ木っ子だより



令和4年度
9月号
上市町立
相ノ木小学校

人生の半分は、整理整頓である

「おはようございます」

9月1日の朝、登校してきた子供たちは、夏休み前よりも元気な声でわたしに挨拶をしてくれました。新学期に向けて力が満ち溢れ、久しぶりの登校が待ち遠しかった様子が伺え、たいへんうれしくなりました。収まるどころか日を追うごとにどんどん感染者が増えていったコロナ禍、猛暑と短時間の豪雨が繰り返された天候、子供たちが過ごした今年の夏休みはそう容易い生活の日々ではありませんでした。「夏休みを十分楽しめただろうか」「休業明けの心もちはどうなだろうか」そんなわたしの心配を吹き飛ばし、きっとでき得る有意義な過ごし方でリフレッシュし、新たなエネルギーを蓄えることができただろうと感じさせてくれる子供たちの朝の様子でした。わたしはというと、国内旅行や遠出のドライブができず、メリハリのない夏休みを過ごしていたわけで、子供たちのようにエネルギー満タンというわけにはいかなかった気がします。それでも、そんな生活に張りを保てたのは、日々ウォーキングを継続できたからで、猛暑と豪雨の合間を縫って外を歩くのはたいへんでしたが、体力づくり（体力保持？）の習慣を続けられたことが、自分の心身に大きなプラスとなって働いていたと実感しています。

そこで始業式では、わたしの夏休み中の過ごし方やウォーキングを例えにして、生活習慣の大切さについて子供たちに話をしました。自分にとってためになる習慣の継続はたいへんだけれども、自身の大きな力となること、また生活習慣の中でも特に整理整頓をしっかりと続けてほしいことを子供たちに伝えました。コロナ禍にあって学習活動や学校行事をコロナ禍前と同様に進めていくためには、自分を律する気持が必要で、そして、よりよい生活習慣を継続しようとする意志と実践力が、子供たちの成長に大きく寄与すると考えます。

ドイツには、

人生の半分は、整理整頓である。



という格言があります。前もってしっかりと準備できる人が成功するという意味ですが、準備に苦労した分、残り半分の人生を楽しく生きるべきだという意味もあるそうです。それだけ整理整頓が人生を豊かにするためには重要であると言えるのでしょう。

整理整頓にかける1分が、1時間の余裕を生む。

これは、有名な気象学者であり、アメリカの物理学者・政治家でもあるベンジャミン・フランクリンの言葉です。ちょっとした手間であっても日々整理整頓を心がけることで、心身に大きな余裕を生むことができます。逆に片付け下手だと、探し物に苦労し、効率も悪くなり、無駄な時間を使ってしまいます。得手不得手、好き嫌いはあるでしょうが、整頓を心がける気持ちやたまにでも片付ける習慣を身に付けることが重要で、人生に大きなプラスになります。やはり、ほんのちょっとした習慣付けやこだわり、工夫といったものを大事にしていくべきなのでしょう。

また、アメリカ自動車産業の育ての親である実業家ヘンリー・フォードは、次のように言っています。

整理整頓のできていない工場に、素晴らしい職人はいません。

まさにその通りだと思います。整頓上手は、イコール仕事上手ということであり、子供たちにとっては、イコール学習上手ということになるでしょう。子供たちが自分の学力アップを目指す上でも、自身の身边をきちんと整理し、活動しやすい環境で学習に臨むことが大切です。そのためにも、まず我々大人が、子供たち以上に整理整頓を心がけなければならないでしょう。わたしたちは、安全面も含め、活動しやすい学校であるよう常に気を配っているわけですが、子供たちの手本となる生活を送っているかを再認識したいと思います。そして、ぜひ相ノ木っ子には、整頓上手になり、人生の多くを楽しめるようになってもらいたいものです。



仲間と共にひたむきに



「パワー!」「ガオー!」「シャー!」

体育館や多目的教室から、応援練習中の子供たちのそろった声が大きく響いてきます。これらは、今年の各団の掛け声です。赤団は朱雀の「パワー」、白団は狼の「ガオー」、青団はシャチの「シャー」です。9月1日の結団式に、団役員の自己紹介、掛け声やデコレーションの説明、最初の応援練習等を行い、運動会に向けた各団の競い合いがスタートを切りました。それから1週間、子供たちの様子を見ていますと、どの子も一生懸命に練習に取り組んでおり、特に6年生は小学校最後の運動会にかける思いが一際強く、とても積極的に団員を引っ張っています。また他の学年の子供たちも、6年生に後押しされながら、自分の団のために力を合わせてがんばっています。やはり運動会という行事は、子供たちの団結力を高めるすてきなものなんだと強く感じます。

ドイツの詩人、劇作家であるヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテは、次のように言っています。

自分一人で石を持ち上げる気がなかったら、二人でも持ち上がらない。

一人では無理でも力を合わせて達成する、協力してより大きなことをなす、そんなことを目指すにはただ人数が集まるだけではいけないんですね。優勝や勝利といった目標をそれぞれが同じようにもたなければいけませんし、一人一人がそれに対する強い意志をみなぎらせないとはいけません。その上で、力を合わせて達成に向けて全員が努力することで、本当の絆というものが生まれるものだと思えます。

結果だけの成功に価値はない。

仲間と共につくってきた過程にこそ価値がある。

これは、若くしてエベレストで亡くなった登山家の栗城史多さんが遺した言葉です。やはり結果がついてくればよいのですが、そういった成功そのものにはあまり価値はないものです。誰か一人の大きな活躍によって結果を出すこともあります。集団としての価値を生み出すのは、一人一人がどのように力を合わせてきたのか、どのように苦心を重ねてきたのかによると思います。仲間と共にひたむきになって取り組んできて、その努力をいかに発揮できる運動会にしたいものです。ただ残念なことに、新型コロナウイルス感染拡大によって、運動会を3週間延期せざるを得なくなりました。ずいぶん先への延期となっていまい、保護者、ご家族の皆さんにはたいへんご迷惑をおかけすることになりますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願いします。

今年のスローガンは、「強い絆の相ノ木っ子 心を燃やし 最後まであきらめず 全力で駆け抜けろ!!!」です。相ノ木っ子のみんな、一人一人が力を出し合い、一人一人が活躍し、一人一人が強い絆で結ばれる、そんなすてきな運動会にしていきたいと思います。

行事予定(9月中旬～10月中旬)

9月19日(月)	(祝)敬老の日	10月7日(金)	1年ふるさと学習
22日(木)	3年ふるさと学習		運動会前日準備
23日(金)	(祝)秋分の日		下校2・3年 13:55
27日(火)	4年校外学習(四季防災館)		1年 14:30
29日(木)	5年校外学習(常願寺川)		4～6年 15:20
10月4日(火)	健康運動能力向上支援事業 (1・2年)	8日(土)	秋季大運動会
5日(水)	運動会予行練習	9日(日)	運動会予備日
6日(水)	夢の教室(5年)	10日(月)	(祝)スポーツの日
		11日(火)	歯科検診
		12日(水)	6年ふるさと学習
		13日(木)	振替休業日

